



湖北黄冈伊利乳業有限責任公司

## 湖北黄冈伊利乳業有限責任公司の概況



**住所: 湖北省黄冈市西湖工業園区新港路 1 号**

**TPM 推進マネージャー: 方乃奇**

**電話: +86-18946041133**

**E-mail: 976578345@qq.com**



# 目次

<b>第一章グループ、事業部、工場概要</b> .....	<b>3</b>
1.1 グループ概要 .....	3
1.1.1 グループの発展過程 .....	3
1.1.2 グループ構成 .....	4
1.2 液体ミルク事業部概要 .....	5
1.2.1 液体ミルク事業部の発展過程 .....	5
1.2.2 液体ミルク事業部の主要製品 .....	5
1.3 工場概要 .....	6
1.3.1 工場状況概要 .....	6
1.3.2 工場の発展過程 .....	7
1.3.3 工場組織仕組み&従業員の概況 .....	8
<b>第二章 TPM 方針と目標</b> .....	<b>9</b>
2.1 工場戦略の確定 .....	9
2.2 TPM は工場戦略を支持する .....	9
<b>第三章 TPM 活動概要と成果</b> .....	<b>10</b>
3.1 TPM 導入経歴 .....	10
3.2 TPM 活動成果-有形成果 .....	11
3.3 TPM 活動成果-無形成果 .....	14
<b>第四章 成功のキーポイント</b> .....	<b>14</b>



## 第一章グループ、事業部、工場概要

### 1.1 グループ概要

#### 1.1.1 グループの発展過程

1956年に発展してから66年になり、オリンピックと世界博覧会のためにサービスを提供する唯一の乳製品企業です。2017年に2022年北京オリンピック冬季競技大会と冬パラリンピック公式唯一の乳製品パートナーに署名しました。2019年にタイ CHOMTHANA 社を買収合併しました。2022年に、オランダ協力銀行が最新発表した「2022年世界乳業トップ20」ランキングで、伊利グループは、再びアジア NO1 に位置し、2年連続で世界乳業ベスト5になりました。伸び率31.7%で、世界 NO1 になりました。



図 1.1: グループの発展過程

### 1.1.2 グループ構成

五つの事業部、82 個の子会社を設置し、従業員は 5.9 万人で、全国に広がります。国際化は伊利の重要戦略とし、現在、アジア、ヨーロッパ、アメリカ州、オセアニアなどの乳業発達地区で全世界資源体系、全世界革新体系、全世界市場体系をカバーする基幹ネットを構築しました。ヨーロッパでは、Wageningen UR と協力して、オランダで中国乳業における最も高規格の海外研究開発センター、即ち伊利ヨーロッパ研究開発センターを創立しました。

アメリカ州では、世界農業食品分野のハイエンド知恵サークル、即ち中・米食品知恵谷を主導的に実施し、大洋州で、30 億元を投じてニュージーランドに一体化乳業基地を建設する事を通して、伊利のグローバル化配置は、持続的に深化していきました。



図 1.2: グループ構成



## 1.2 液体ミルク事業部概要

### 1.2.1 液体ミルク事業部の発展過程

1997年に最初の液体ミルク生産ラインが生産開始し、1999年に液体ミルク事業部が設立され、2005年に液体ミルクが拡張期間に入り、2014年に技術教育センターが設立され、2017年にニュージーランドに新しいオセアニア乳製品生産拠点を建設し、2022年に内モンゴルのトゥモチュアン平原に伊利現代知恵健康谷を設立しました。現在、全国に45社の液体ミルク生産拠点が建設されており、黄冈伊利は2022年に31.52万トン生産量を持ち、事業部はラインキング8位です。

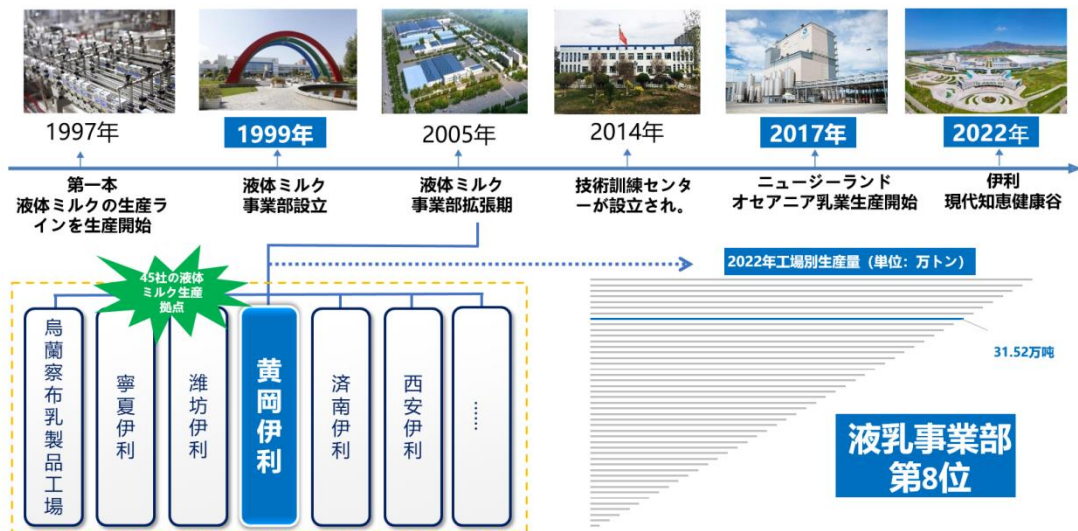


図 1.3: 液体ミルク事業部の発展過程

### 1.2.2 液体ミルク事業部の主要製品

液体ミルク事業部は、主に殺菌乳、乳飲料、発酵乳、調合乳、飲用天然ミネラルウォーターの五つの種類を生産しております。



湖北黄冈伊利乳業有限責任公司



図 1.4: 液体ミルク事業部の主要製品

## 1.3 工場概要

### 1.3.1 工場状況概要

工場の敷地面積は 10.28 万平方メートルで、総投資は 14 億人民元で、2 つの作業場、即ち、液体ミルク作業場とアイスクリーム作業場からなり、今回の審査認証作業場は、液体ミルク作業場で、敷地面積は 7.98 万平方メートルで、従業員は 865 人で、24 品目を生産しています。日産は 2000 トン、年間生産額は 25 億元です。



図 1.5: 工場状況概要

### 1.3.2 工場的发展過程

黄冈工場は 2007 年に定礎され、2008 年に生産開始、2012 年から 2019 年にかけて、PET モデル生産ライン、A3 / CF モデル生産ライン、パッケージング自動化の変換とアップグレード、CFA124 モデル生産ラインが追加された。2013 年には、OEE システム、標準化作業、DMS などの基本業務を導入し、2016 年に TPM を正式に導入し、2022 年にデジタル(エフ、DMS、TBM、注文管理)を導入し、TPM の優秀賞(A)正式な監査に合格しました。



図 1.6: 工場の発展過程

### 1.3.3 工場組織仕組み&従業員の概況

工場は総経理責任体制を実施しており、生産部、技術部、設備部を含む 8 つの部門より構成されている。従業員は 865 人で、全体の平均年齢は 37 歳で、315 人が大学大専及びその以上の学歴を持ち、37%を占め；生産 / 設備 / 技術員合計 725 人で、工場の総数の 83.8%を占め；勤続年数 5 年以上のは 786 人、90.86%を占め、工場の需要を満足しています。

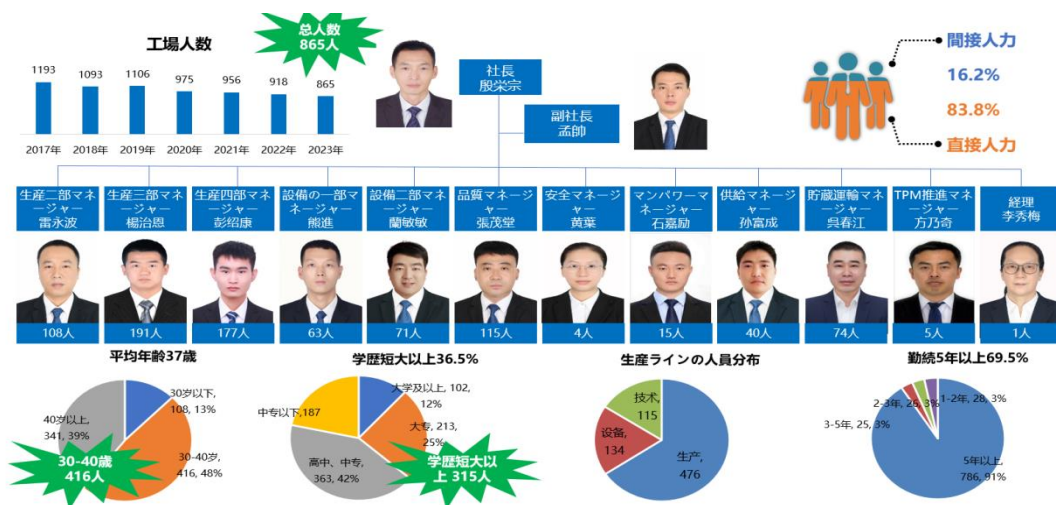


図 1.7: 工場組織仕組み&従業員の概況



## 第二章 TPM 方針と目標

### 2.1 工場戦略の確定

グループや事業部のビジョンと合わせ、“液体ミルク事業部におけるロス改善を継続的に進めるベンチマーク工場になる”というビジョンが定められ、同時に“リスクをコントロールし、人材を育成、高品質を保ち、ロスゼロ”という工場の戦略が確定されました。

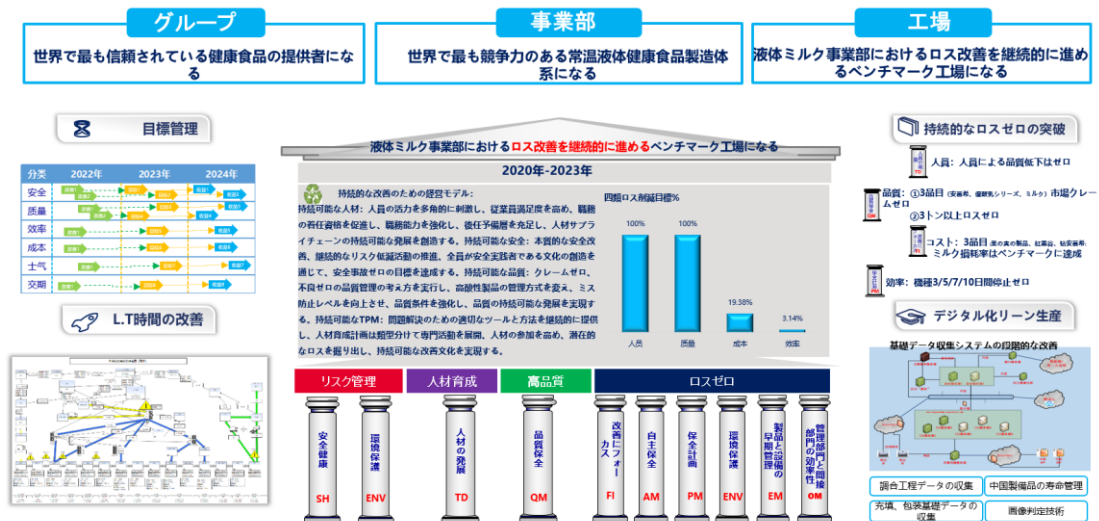


図 2.1: 工場戦略の確定

### 2.2 TPM は工場戦略を支持する

TPM は世界先進の持続的改善体系として、全員参加、ロスゼロ、予防哲学を追求することによって持続的に改善されています。今後の取り組みは、TPM ツールを継続的に応用して、工場のビジョンの実現をサポートします。



図 2.2: TPM は工場戦略を支持する

### 第三章 TPM 活動概要と成果

#### 3.1 TPM 導入経歴

戦略方法に基づき TPM 活動の準備を展開し、工場は 2013 年に TPM ツールと手法を導入し、サークル形の改善活動を始めました。2016 年に FI、TD、AM、PM、QM、SH、ENV、更に 2020 年に EM と OM を続々と導入してきました。TPM 活動を展開することにより、工場の実績に穏やかな改善が見え、社員のやる気も高まりました。我々は 2021 年から TPM 優秀賞の審査をチャレンジし始めましたが、今後も TPM の各賞にチャレンジし続けていきます。



図 3.1: TPM 導入経歴

### 3.2 TPM 活動成果-有形成果

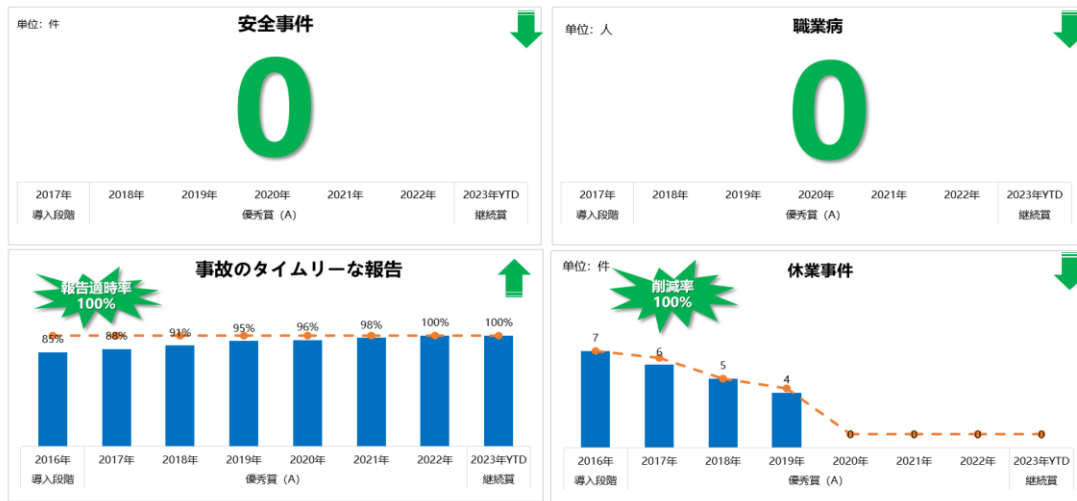


図 3.2: 有形成果(S)



湖北黄冈伊利乳業有限責任公司

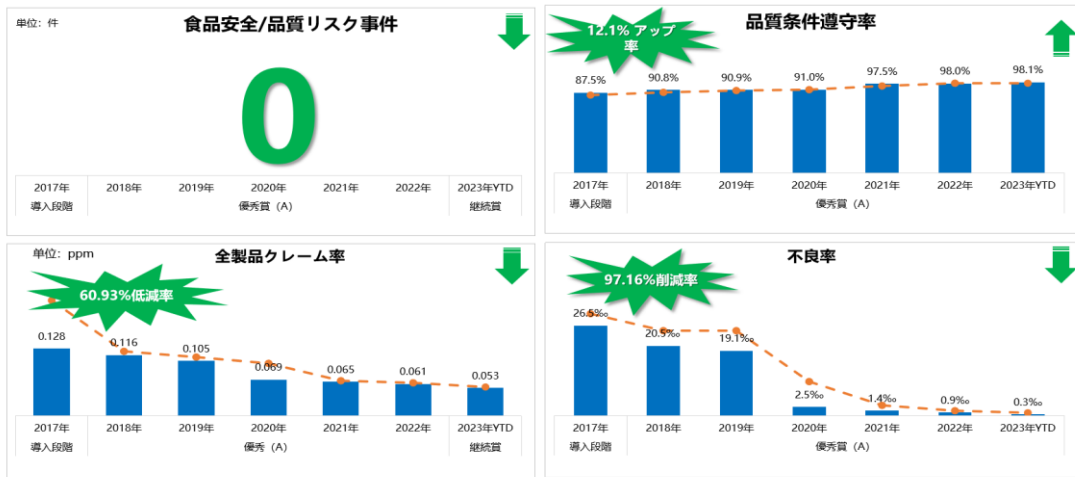


図 3.3: 有形成果(Q)

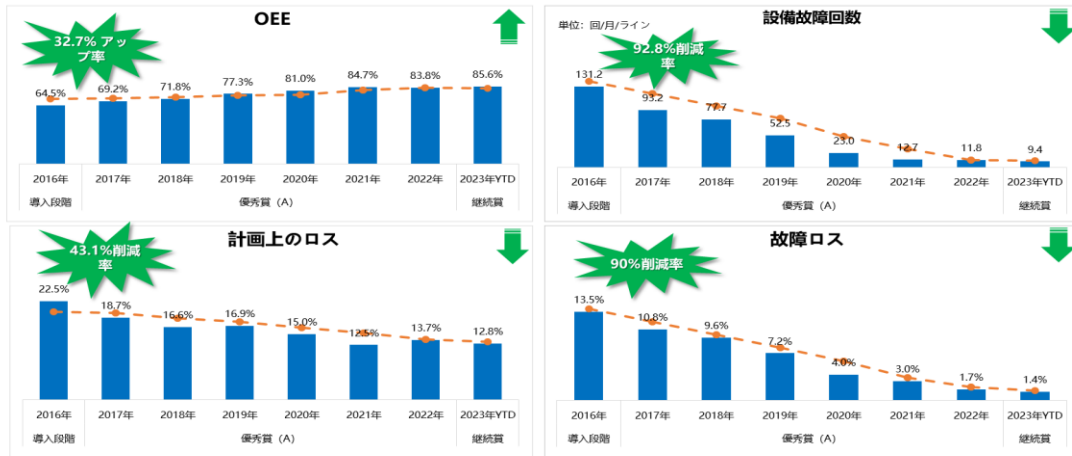


図 3.4: 有形成果(P)

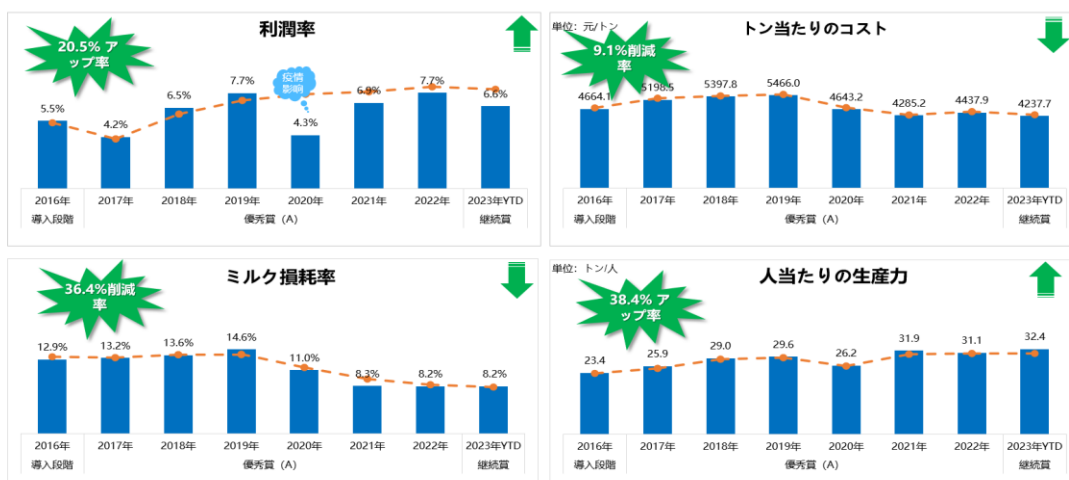


図 3.5: 有形成果(C)



図 3.6: 有形成果(M)

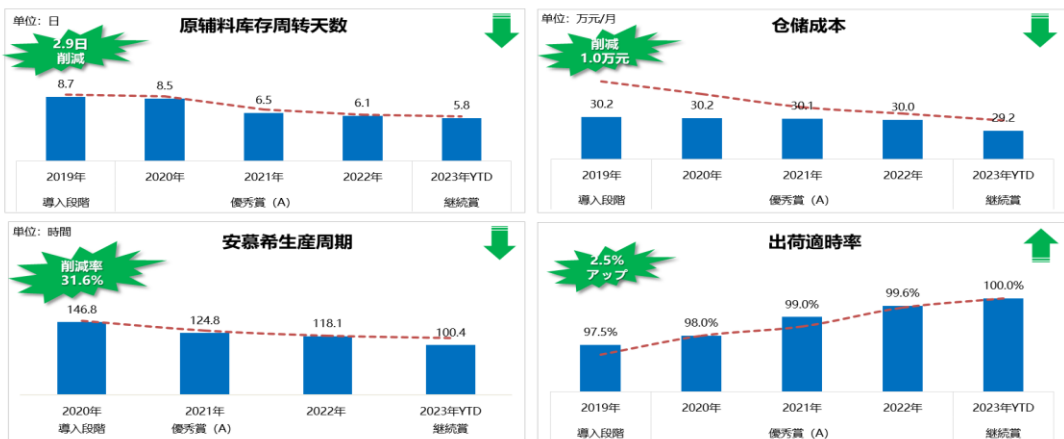


図 3.7: 有形成果(D)

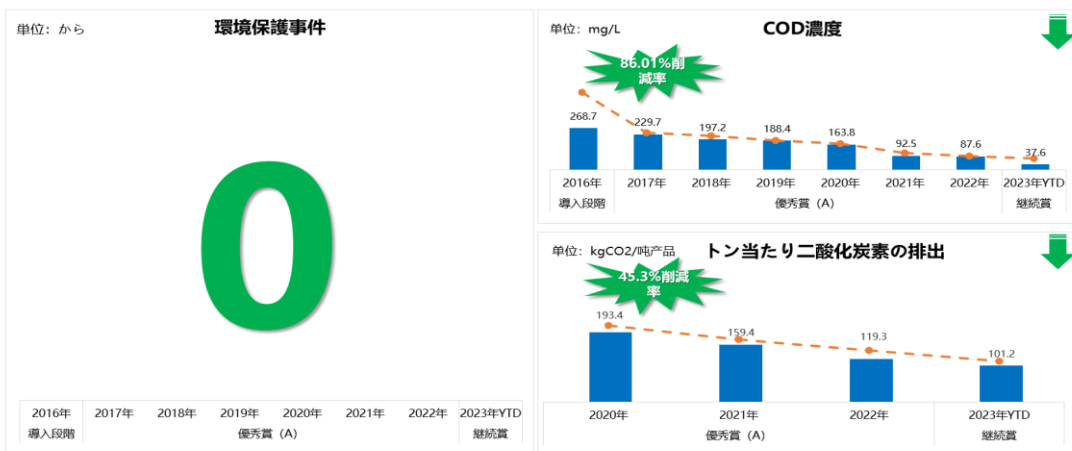


図 3.8: 有形成果(E)

### 3.3TPM 活動成果-無形成果



図 3.9: 無形成果

## 第四章 成功のキーポイント

- 1.TPM 手法を継続的に活用して、工場の経営目標を高めていきます。
- 2.全員参加で継続的な改善と損失ゼロを実現します。
- 3.体系的なアプローチでリーマン人材を育成します。